

展示内容

- 1章 なぜ“昭和9年”？
- 2章 “昭和9年”歴史の教科書から
- 3章 県内と嬭恋村の出来事・風景
- 4章 三つのテーマ 幹線道路の整備と省営バス/
キャベツ栽培の功労者/「世界を飛翔した」飛行士熊川良太郎
- 5章 「美しい。たくましい。みずみずしい。群馬県嬭恋村」へ

令和6年
7月19日認定
**嬭恋村
文化財保存活用
地域計画**
把握した地域の歴史文化
展示を通して
活用へ

明治26年(1893)信越線の開通は、中山道や北国街道の脇往還として人や物の流れを担っていた信州街道の使命に終止符を打つことになりました。大正8年に草軽鉄道が嬭恋まで延び、新たに鉄道という交通網が嬭恋村に共用されます。大正から始まった村内の水力発電所の建設は、吾妻川に沿って、3か所目の西窪発電所が昭和8年に完成します。

昭和5～6年にかけての昭和恐慌は、農村において特に深刻な大不況で、救農の土木事業を生み出し、自動車の発達が道路橋梁の改修・路面の拡張を促しました。村内の多くの橋は、昭和6～10年土橋や木橋からコンクリートの橋へと変わって、自動車交通の時代を迎えます。大滝橋・中川原橋・神前橋・御関所橋・大橋・栄橋などが、次々に生まれ変わったといえます。

*

東京上野にある国立科学博物館を上空から見ると飛行機の形をしています。昭和6年(1931)同館が完成した当時飛行機は最先端技術の象徴だったことがわかります。藤岡市生まれの堀越二郎は、「ゼロ戦」を設計したことで知られる1903年生まれの上州人です。その前年02年嬭恋村今井に生まれ、学生飛行士の指導教官として昭和6年ローマまで1.3万kmの学生訪欧飛行を成功させ、世紀の快挙を達成した飛行士がいました。熊川良太郎です。「ゼロ戦」設計者堀越と「世界を飛翔」した飛行士熊川は、同じ時期に活躍した上州人でした。熊川が携えてローマまで飛んだ旅券と手帳、昭和3年の郷土訪問飛行機体のプロペラも今回展示します。

*

そんな時期に、嬭恋では高原野菜の出荷がはじまります。道路網の整備が、売れる高原野菜の栽培を可能にし、全国21路線に次ぐ、渋川～真田間の「省営バス」が県内でいち早く(昭和10年)開設されます。展示した『省営自動車 吾妻線案内』(東京鉄道省1934)には、路線観光の案内が記載されています。これらの礎(いしづえ)が、農業と観光に特化する今日の嬭恋村へとつながっていきます。そのために奔走した先人たちの功績が今日の繁栄をもたらしてくれていることに着目しなければなりません。キャベツ栽培の功労者として知られている戸部彪平・塚田國一郎・青木彦治の3人の顕彰碑は大前と田代に建っています。

次の世代、「みんなで育てる嬭恋村」を創っていくために、多くの皆さんに展示を眺めてもらいたいと考えています。「温故知新」、古きを訪ね・新しきを知る発想を展示から引き出していただけたら幸いです。

令和6年度 企画展
“年9和昭”の村恋嬭

※昭和27年(1952)「公用文の作成要領」が通達されるまでは「右横書き」でした。



2024年(令和6年) **7月19日金** ~ 2025年(令和7年) **5月6日火**

水曜休館(祝日の場合は木曜日) 7・8月は無休 開館は9:00~16:30(入館は16:00まで)

入館料	一般	300円(240円)
	小・中学生	150円(120円)

※()内は団体30名以上の団体料金です ※常設展も観覧できます

村民無料



同時開催 文化庁「文化的景観20年参加事業」パネル展示

関連企画① 展示解説 ■ 9月28日(土) 10:00~

関連企画② **県内最初の 路線を**

県民の日記念・復活?省営バス走る!!

■ 10月28日(月) 8:30発 嬭恋郷土資料館発着
昭和10年県内初の渋川～真田間の省営バス路線を、マイクロバスでたどります。

- ともに要申込・村民優先
- 受付開始
村民: 9月1日(日)9:00~
村外: 9月6日(金)9:00~
※定員になり次第締め切り

■ お申し込み
0279-97-3405

嬭恋郷土資料館

嬭恋郷土資料館へのご案内

Tsumagoi History Museum
嬭恋郷土資料館
〒377-1524
群馬県吾妻郡嬭恋村大字鎌原494
TEL. **0279-97-3405**
FAX. **0279-82-1210**



JR利用の場合

- JR吾妻線万座・鹿沢口駅から軽井沢行きバス鎌原観音堂前下車。
- 北陸新幹線軽井沢駅から草津・万座温泉行きバス鎌原観音堂前下車。

自動車利用の場合

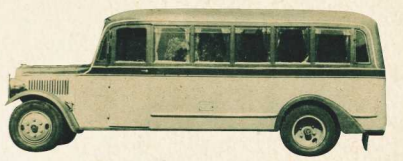
- 関越自動車道 渋川伊香保IC下車。R353、上信自動車道、R145、R144で約80分。
- 上信越自動車道 碓氷軽井沢IC下車。R18から鬼押ハイウェイで約60分。



“昭和9年” 展示関連イメージ年表

- 明治22年 嬬恋村の誕生 (3,340人)
- 大正3年 生まれ萩原進
- 大正6年 村内馬千頭、牛6百頭
- 大正14年 今井水力発電所
- 大正15年 田代湖、鹿沢発電所
- 昭和3年 熊川良太郎 郷土訪問飛行
- 昭和5年 「礼服ニハ洋服ヲ採用ス」
- 昭和5~6年 昭和恐慌
- 昭和7年 1932年 天明浅間山 噴火150回忌、峰の茶屋、鎌原公会堂
- 昭和8年 1933年 JOGB 前橋放送局
- 昭和9年 1934年 浅間山 噴火から150年 各地で法要
- 昭和10年 1935年 先生の制服制定
- 昭和11年 1936年 嬬恋西校 赴任時のイモ澱粉語る
- 昭和13年 「上毛古墳総覧」
- 昭和15年 男子国民服・女子モンベ普及
- 昭和17年 等層厚線図
- 昭和20年 牛馬による耕耘姿消す
- 昭和27年 特別天然記念物
- 昭和30年 特別天然記念物に、この頃約3千頭
- 昭和36年 岩窟ホール焼失
- 昭和44年 鬼押し出〜三原間全面道路舗装
- 昭和45年 岩窟ホール鉄筋コンクリート
- 昭和46年 閉山閉校
- 昭和48年 「馬市の賑わい」といって建つ役場
- 昭和50年 平成29年「群馬県古墳総覧2017」
- 令和5年 「嬬恋くらこ」2023文化庁100年フード
- 令和6年 5月 4,349世帯 9,382人
- 令和27年の予想 5,587人

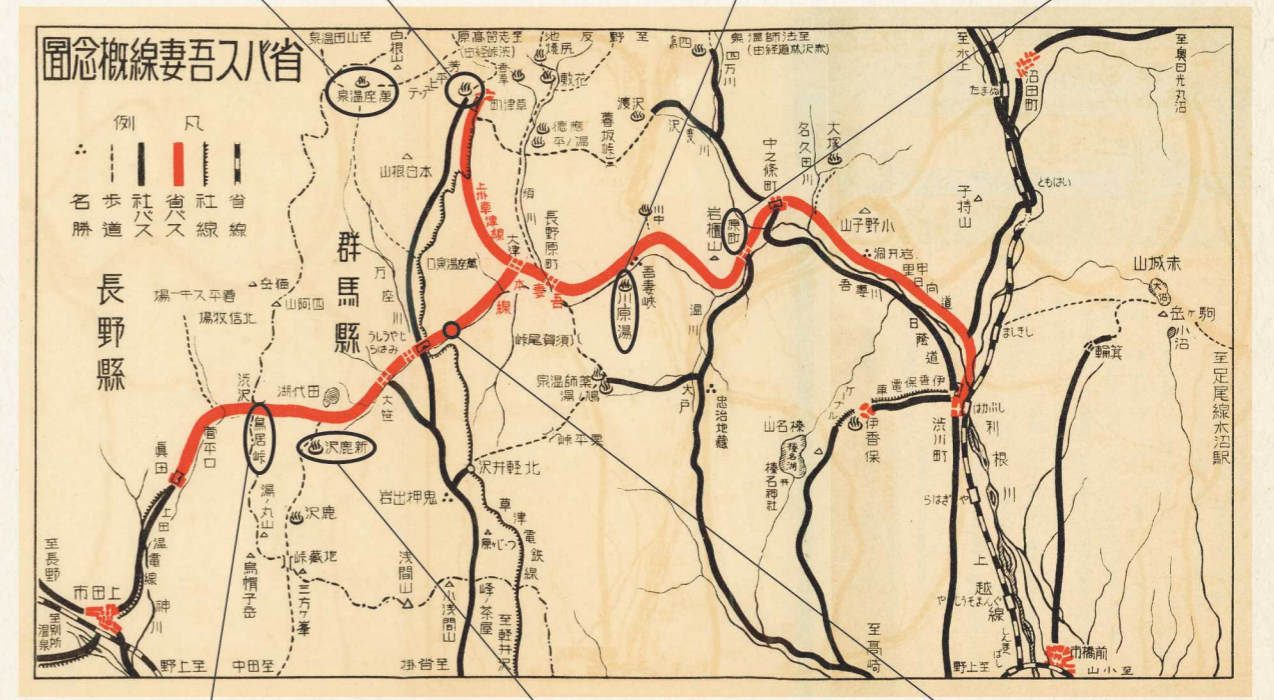
省営バスマップ



省バスは、上州渋川から吾妻川の谷に入り、ずっと水上の四阿山と鳥居峠で越し、信州真田で終わり、別に草津温泉に入る支線を出して居ります。
 *吾妻本線(上越線渋川駅~上田温泉電軌会社線真田駅間79%) / 上州草津線(長野原町大津~草津温泉15%)

省営自動車 吾妻線案内 (昭和10年12月東京鉄道省) 当時の表記をもとに抜粋・加除修正。

- 1. 渋川から中之条へ**
 渋川の駅前を出た省バスは忙しく渋川銀座の四角から右折して町はずれに出ます。…車上から見ると吾妻川の川水が光り、渡船を待つ村娘の姿が目につきます。…中之条に近づく…この辺りから吾妻本流に方って岩櫃山がそびえ、その奥に浅間の噴煙が眺められます。本コース最初の浅間山です。…町の中央にある群馬自動車の本社のすぐ西隣に名物吾妻そばを売る旅館なべ屋があります。この町から、四万、沢渡温泉場へ入る群馬自動車のバス路線が折れます。
- 2. 中之条から四万・沢渡温泉へ**
 沢渡は過般の水害でひどくやられたが来春には回復しませう。無色透明で草津の直し湯として栄えてきた歴史を持って居ります。…天然橋が架かり傍らに不動の滝と…何れも四万行きバスの車窓から眺められます。何れの旅館も渓流のせせざきが寝覚めの枕に通います。
- 3. 中之条から川原湯へ**
 省バスは、山田川を渡り、道の右にある群馬県立原町高女の立派な建物を眺めながら町の段丘に駆け上がります。…路のわきに一本の大樫が雲を凌いで立っています。之は原町創設の日その鬼門除けに植えられたものです。矢倉村に入ると、…神代杉は日本尊の御手植だと云います。
- 4. 吾妻峠**
 松谷以降、車は吾妻峠の崖の上を通ります。見下ろせば数十ヶ、…川原湯へはそこから群馬自動車のバスに乗り換えて三四百上ります。
- 5. 川原湯温泉**
 古くは源頼朝公入浴の伝説もあってかなり古い温泉場です。
- 6. 湯の町草津**
 海拔千二百餘の高原の湯の町草津を暮って四方から集まる浴客は一年二十万人を下らぬと申します。
- 7. 万座温泉**
 自炊客が主です。ラムプの下で食事するのが珍しいでしょう。スキー客が多くなったので今年から三軒とも越冬するといふて居ます。



- 8. 長野原から新鹿澤・鹿澤温泉へ**
 長野原町を離れた車は、大津から吾妻川の水幕しさうに左方へ下ってゆきます。路傍に大瀧を見る頃になりますと遙かの段丘の上に三原の部落やスキッチバックしていく草津電鉄の電車や小さい停車場等が認められます。
- 9. 熔岩流の押出**
 鬼の押し出は草津から吾妻へ出る高原バスの専用道路線の傍らにある長さ8m、幅4mもある一面の岩場です。傍らに鬼の押し出茶屋や岩窟ホテル(来春開業)があります。
- 10. 田代池**
 浅間山をはじめ鹿澤、新鹿澤の温泉場を囲む山々を左方に眺めながら西へ4km程行くと田代の宿があって、その上方半々に田代池があります。夏秋の間は茶屋に番人が居て、釣魚、貸ボートをやっているし、箱根土地の高原バスが同社の車で鬼の押し出へ遊ぶ人々を無料でこの池迄運んで居ります。
- 11. 新鹿澤温泉・鹿澤温泉**
 新鹿澤は海拔一三〇〇m、約4km程山手に在る鹿澤から引湯した共同湯大湯を取囲んで数軒の旅館があります。鹿澤は、海拔一五三五m、夏は避暑によく冬はスキーに良い場所です。特に山スキーの人が集まります。
- 12. 鳥居峠越**
 上州最奥の部落古永井を過ぎると、道はぐんぐんと上りになって鳥居峠にかかります。四辺は悉く落葉松の植林で春には緑の海、秋には金色の海ともなります。…峠からは雪に輝く北アルプスの山々が眺められます。峠を下れば岩澤の部落、更に下れば菅平口の民家を認めます。そこから菅平へは夏ならばバス、冬ならば馬車が通います。
- 13. 上田市と別所温泉**
 菅平口から神川の溪に沿って4km余れば省バスの終点真田です。真田は、信越線上田を起点として神川に沿って上つてくる上田温泉電鉄真田線の終点でもあります。上田市へは電車で40分です。人口4万5千、付近の文化の中心、物資集散の中心地となっております。上田駅から別所温泉へは、電車で30分、バスで25分かかります。

「美しい。たくましい。みずみずしい。群馬県嬬恋村」へ